

10月14日 逍遙



黎明館の裏手で、ワタシのお気に入りの逍遙のひとつきを過ごした後、右手に向かうと、前方の北門近くに、あの「天璋院篤姫」の像が見えてきます。「篤姫」と言えば、大河ドラマで宮崎あおいさんや北川景子さんが演じたこともあって、人間の世界ではかなり知られているようですね。逍遙館長さんの話では、篤姫は、薩摩藩島津家一門の一つ、今和泉島津家の姫として鹿児島城下で生まれ、18歳の時に第11代薩摩藩主・島津斉彬の養女となり、ここ鹿児島城でも約2ヶ月ほど過ごしたのだとか。その後、江戸に上り、近衛家の養女を経て、第13代将軍・徳川家定の正室になられた（その際の婚礼道具は一切、あの西郷が調達したのだとか）ものの、家定とは僅か2年足らずで死別。その後生涯を通じて、故郷・鹿児島には戻らず、徳川の間人として最後まで生き抜いた、とても意志の強い女性だったそう。ところで、ワタシ達・猫仲間の間でも篤姫は有名なのですが、それは、彼女に生涯可愛がられた、大奥住まいのセレブライフな雌猫がいたからなのです。

次回「すず『雌猫の一生』を想う、のころ」

自らの意志で
思い定めたからこそ、
のころ

